

【別紙様式】

<p>裾野市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施する。</p>			
事業名	赤十字病院電力・ガス・食品等高騰支援		
総事業費 (千円)	10,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	10,000千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症による影響で高騰している、電力・ガス・食品等の支援をするため補助金を増額し、市の地域医療を支える一助とする。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 補助金：10,000千円 電気・ガス・食品等の高騰額（単価差額と使用燃料の増加を見込む） 電気×12ヶ月=7,000,000円、ガス×12ヶ月=3,000,000円 計 1,000,000円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 裾野赤十字病院 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 新型コロナウイルス感染患者を受け入れる病院の物価高騰による経営への悪影響を回避し、診療水準を維持するため。</p> <p>④期待される効果 病院経営及び診療水準の維持継続。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>エネルギー・食料品価格等の物価高騰による医療体制への影響を鑑み、支援する必要がある。</p> <p>特に市内の救急医療に関しては裾野赤十字病院に依存しているため、経営への悪影響を回避し、診療水準を維持する必要がある、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		